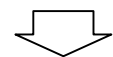
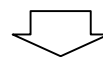
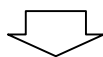
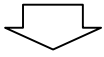


国語の全体概要

国語全体の正答率は、県平均を大きく上回る結果が得られました。観点別では、「書く」「読む」「知識・理解・技能」では高い正答率を得ました。反面、「話す・聞く」では県平均を下回る設問もありました。

国語の調査結果について

| 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 適切な言葉遣いで話すことを問う設問では高い正答率を得ました。反面、互いの考えの共通点や相違点を考え進行に沿って話し合うことや、司会の役割を理解し話し合いを進める問題での理解不足がみられました。 | 目的に応じて内容の中心を明確にして見出しを書くことを問う、選択式の設問では十分な理解が得られました。活用に関しては、書く内容の中心を明確にする文章記述の問題での正答率が著しく低い結果が確認できました。 | 登場人物の会話に即しながら読むことを問う選択式の問題では高い正答率を得ることができました。反面、叙述を基に登場人物の気持ちの変化を捉える、活用に関する記述問題では正答率が県平均を下回りました。 | 漢字やローマ字を正しく読むこと、書くことが求められた設問では高い正答率でした。主語と述語の関係が理解できているかを問う問題での正答率が県平均を下回りました。 |



今後の対応

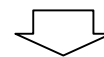
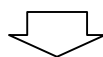
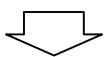
- ・この結果を踏まえて、夏季休業中に学習会「サマースクール」を行い、調査結果から理解が不十分と確認できた内容を中心に補充学習指導を行います。
- ・国語の授業とは別に毎週火曜日の朝の時間と木曜日の昼の時間に特設のスキル学習「国語タイム」を設け計画的に実施していきます。
- ・読解力の向上のために、記述内容を読み取る力をつけます。そのために読む、書く、話す・聞く学習活動と共に、読書活動の推進として、学校図書館を活用した多読賞の奨励を行います。
- ・既習の漢字も含めて正しく読み書きができるように、家庭での宿題の確実な取り組みも指導していきます。

算数の全体概要

算数全体の正答率は県平均を下回る結果が確認できました。また、各観点別での正答率での県平均比較では、「考え方」で大きく下回りました。「技能」の正答率は県平均と同等の結果が得られました。

算数の調査結果について

| 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 活用に関する記述式の問題で、示された条件のもと正三角形ができることを、円の性質を基に判断し、その理由を説明することに理解の不足が確認できました。 | 折れ線グラフから変化の特徴を読み取る選択式の問題では高い正答率を得ることができました。反面、四則が混合していて、計算の工夫がある式の計算に誤答が多くみられました。 | ものの位置の表し方が理解できているかを問う問題では高い正答率でした。反面、結合法則や、並行四辺形の定義や性質について理解しているかを問う問題では理解不足が確認できました。 |



今後の対応

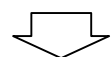
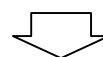
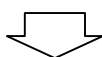
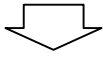
- ・算数科の基礎的な技能を高めるために、毎週木曜日の朝の時間でのスキル学習を行っていきます。
- ・計算領域での基本的な内容の習得が十分でない児童には、特に計算領域の内容を反復させ、基礎をしっかりと仕上げていくことで、基本と応用の両面に対応できる力を育てていきます。
- ・家庭学習とりわけ宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための課題であり、学力向上のためには各家庭での取り組みが不可欠と捉え、毎年配布する「家庭学習の十か条」をもとに、保護者への啓発も引き続き行っていきます。

国語の全体概要

全体の正答率は県平均を大きく上回りました。観点別でも「話す・聞く」と「書く」また「知識・理解・技能」に高い正答率が得られました。反面「読む」の領域は他領域と比較すると県平均正答率とほぼ同等でした。

国語の調査結果について

| 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 目的や意図、話の構成や内容を工夫して適切な言葉遣いで話すことを問う、活用に関する選択、短答、記述の各問題で高い正答率でした。また、考えの共通点や相違点を整理して話すことも理解できていました。 | 内容の中心を明確にして詳しく書くことには高い正答率でしたが、記述式の活用に関する問題、物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめることに理解不足が確認できました。 | 目的に応じて、本や文章を比べて読んだり、自分の考えを明確にしながらか読んだりする問題では高い正答率でしたが、設問中、俳句の情景を捉える問題では正答率が下回りました。 | 漢字を正しく読んだり、書いたりすることや、ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題では高い正答率でした。俳句の情景を捉える設問が県平均を下回りました。 |



今後の対応

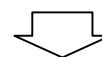
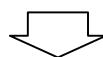
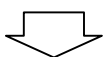
- ・今後とも話し手の意図を捉えながら聞くことや、自分の立場や意図を明確にして話し合う学習活動を取り入れた指導を行っていきます。
- ・「話す・聞く」「書く」学習活動と共に、多読者を奨励する行事や地域の協力を得て、児童への図書への贈呈など読書活動の推進を図ります。
- ・家庭学習の課題として既習内容も含めて、漢字を正しく書く指導の継続を行っていきます。

算数の全体概要

算数全体の正答率は県平均を上回る結果が得られました。また、各観点別での正答率での県平均比較では、「考え方」と「技能」で大きく上回ることができました。「知識・理解」の正答率では県平均をやや上回る結果が得られました。

算数の調査結果について

| 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 示された条件を基に、適切な式を立てることができるかを問う、活用に関する問題での正答率は高い結果でした。反面、直線の数とその間の数の関係に着目して解答する問題では正答率の低さが確認できました。 | 商を分数で表わすことや、二つの数の最小公倍数を求めることを問う問題で高い正答率を得ることができました。反面、加法と乗法が混合した整数と少数の計算を問う問題では県平均の正答率を下回る結果でした。 | 乗法で表わすことができる二つの数量の関係を理解しているかを問う短答式の問題では高い正答率でしたが、立方体の面の位置関係が理解できているかを問う選択式の問題では県平均正答率を下回りました。 |



今後の対応

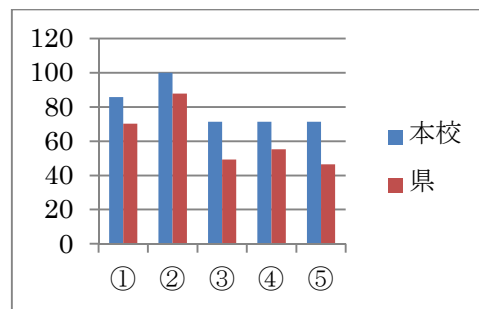
- ・基礎的な知識の習得とともに、学年の単元で理解不足な部分と合わせて補充指導を実施し、思考力を高める学習指導を行います。
- ・授業のなかで、自分の考えをもつ時間とともに、理解したことの定着を図る時間を確保し確実に学習したことが定着できるように取り組みます。
- ・算数科の基礎的な技能を高めるために、引き続き朝の時間でのスキルタイムを行っていきます。宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための課題であり、家庭への啓発も引き続き行っていきます。

生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

5年生

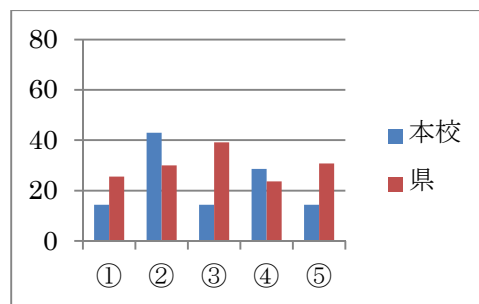
【数値が特に高かった項目】

| | 調査の項目 |
|---|-------------------------------|
| ① | 人の役に立つ人間になりたいと思う。 |
| ② | 学校の宿題をしている。 |
| ③ | テストで分からなかった問題や間違った問題をやり直している。 |
| ④ | 読書は好きだ。 |
| ⑤ | 今住んでいる地域の行事に参加している。 |



【数値が特に低かった項目】

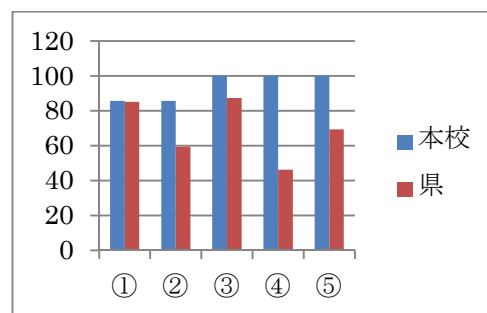
| | 調査の項目 |
|---|------------------------------------|
| ① | 学校の授業の復習をしている。 |
| ② | 苦手な教科の勉強をしている。 |
| ③ | 授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。 |
| ④ | 授業では話し合いながら整理して、発表する学習活動に取り組んでいる。 |
| ⑤ | 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 |



6年生

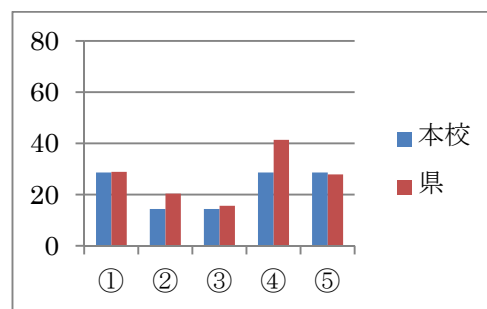
【数値が特に高かった項目】

| | 調査の項目 |
|---|---------------------|
| ① | 朝食を毎日食べている。 |
| ② | 毎日、同じくらいの時刻に起きている。 |
| ③ | 学校の宿題をしている。 |
| ④ | 今住んでいる地域の行事に参加している。 |
| ⑤ | 人の役に立つ人間になりたいと思う。 |



【数値が特に低かった項目】

| | 調査の項目 |
|---|------------------------------------|
| ① | 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。 |
| ② | 学校の授業の復習をしている。 |
| ③ | 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。 |
| ④ | 人が困っているときは、進んで助けている。 |
| ⑤ | 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 |



〈学習習慣について〉

- ・家庭学習の定着と基本的な学習習慣の確立のために、それぞれ、家庭と児童に配布する「家庭学習の十か条」との活用を継続して行います。
- ・宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための学習課題と捉え、学力向上のためには各家庭での取組の必要性について保護者への説明と協力について重ねて依頼します。

〈生活習慣について〉

- ・よりよい生活習慣を身につけるために「家庭教育指針振り返り表」による生活習慣の改善に向けた取り組みを家庭と連携して行います。また「学校のきまり」や「生活目標」の指導を推進していきます。

〈自分を見つめる心について〉

- ・「人の役に立つ人間になりたい」という意識は、県平均を大きく上回っています。
- ・今後も自分の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びが実感できるよう、委員会活動や学校行事での活動を通して自己肯定感や自尊感情を高めていきます。さらに今後は、全教育活動とともに、道徳教育を推進します。